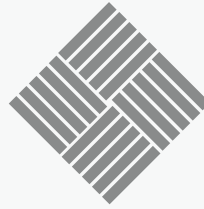


# 組紐・組物学会 ニュースレター

The Kumihimo Society Newsletter



Volume

6

Number

2

2016年3月31日

## 組紐・組物学会行事（終了分）

2015年10月27～30日	10:00～16:00	国際組紐ワークショップ「ビーズ組紐」	エイドリアン・ガスケル
2015年11月7日(金)	10:00～16:00	ワークショップ「ビーズ組紐」	エイドリアン・ガスケル
2015年12月11日(金)	10:00～16:00	「検定直前ワークショップ&レクチャー」	廣澤徳三郎、西幾代・丸山文乃
2015年12月12日(土)	10:00～16:00	組紐・組物検定「実技試験」	総合研究棟4階多目的室
2015年12月13日(日)	9:30～12:00	検定直前レクチャー	多田牧子
2015年12月13日(日)	13:00～15:00	組紐・組物検定「筆記試験」	総合研究棟4階多目的室
2016年1月9日(土)	10:30～16:00	ワークショップ「ボードで組む高台の組紐・マフラー」	清澤澄江
2016年2月12日(金)	10:00～16:00	ワークショップ「おもしろい組紐」	小嶋博子
2016年2月13日(土)	9:00～12:00	レクチャー「新しい組紐」	多田牧子
2016年3月12日(土)	10:30～16:00	ワークショップ「クテ打」	亀井三枝子

## 目次 Contents

2	連続ビーズの組紐	エイドリアン・ガスケル
5	Adrienne Gaskell のビーズ組紐	多田牧子
6	真田紐	高木たまき
10	組紐・組物学会関連行事予定	

## In this issue

Continuous beaded braids	Adrienne Gaskell	2
Beaded braids of Adrienne Gaskell	Makiko Tada	5
Sanada-himo	Tamaki Takagi	6
Forthcoming Kumihimo events in and outside of The Kumihimo Society		10

## 組紐・組物学会ニュースレター

第6巻第2号 2016年3月31日発行

編集・発行 組紐・組物学会事務局 京都工芸繊維大学大学院

伝統みらい教育研究センター内 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町

TEL/FAX : (075)724-7844 E-mail : inoda@kit.ac.jp

本印刷物と同じ内容は学会の Web でもご覧になれます。 <http://www.kumihimo-society.org>

# 連続ビーズの組紐

Continuous beaded braids

エイドリアン・ガスケル  
Adrienne Gaskell



## 1. はじめに

これはビーズをびっしりと通した糸で組む組紐です。丸台で通常の糸の組紐と同じように組んで作ります。連続ビーズで組もうとお考えの場合、最初は特小ビーズ（外径約 1.5 mm）か、丸小ビーズ（外径約 2 mm）を用いてお試しになった方がいいでしょう。うまくいったら、いろいろなサイズや形のビーズでも挑戦してみてください。この方法でほとんどの組み方がうまくいきますが、特に 8 玉や 16 玉の組紐が適しています。まずは以下の組み方で作ってみてください。

### (1)「江戸八つ組」中空組紐、8 玉

組紐の中心部分が中空ですので、組紐のサイズがビーズにより少し太めになります。この組み方は、多くの異なるサイズのビーズ、ジューストーンや真珠でもきれいに組めます。中心に組紐のコードを入れて組む場合は丸大ビーズ（3 mm）よりも大きいビーズでもたいへん上手くいきます。

### (2)「角八つ組」角組、8 玉

配色により、大変効果的な連続ビーズ組紐ができます。ある配色では角組とは見えない組紐もできます。特小ビーズ（外径約 1.5 mm）か、丸小ビーズ（外径約 2 mm）が効果的です。すべてのビーズが同じ大きさであることが必要です。

### (3)「平唐」厚平組、8 玉、12 玉、16 玉。

ブレスレットを作るのにたいへん適した組み方です。12 玉や 16 玉で組んだものの方が 8 玉で組んだものよ

り素敵です。特小ビーズ（外径約 1.5 mm）か、丸小ビーズ（外径約 2 mm）が効果的です。すべてのビーズが同じ大きさであることが必要です。

### (4)「凹凸ねじり組」12 玉、16 玉。

16 玉で組んだ場合は 12 玉で組んだ場合の 2 倍の幅になってしまうという面白い組紐です。特小ビーズ（外径約 1.5 mm）が適しています。大きなビーズは横方向に使うと面白いものができます。

## 2. 制作の準備

### (1) 組糸とビーズと組糸の長さ

組糸は二つ折りにして 2 玉分とします。最初に、作りたい出来上がり寸法を決めます。それには各玉にどのくらいのビーズが必要かをまず知る必要があります。

### (2) 組糸の長さを知るための式

望む出来上がり寸法：15 cm とします。

ビーズを通した長さ = 望む出来上がり寸法 × 2

望む長さが 15 cm の場合 = 15 cm × 2 = 30 cm、ビーズを通した部分は 30 cm 必要です。

組糸の長さ = ビーズを通した長さ × 2 + 100 cm = 30 × 2 + 100 = 160 cm

この 100 cm 加えるのは、重り玉に結びつけたり、ビーズ組紐を組むときの余裕として必要です。糸の長さはきっちりこの長さが必要なものではありません。少し長めに用意してください。



連続ビーズ組紐の例



連続ビーズ組紐の例

### (3) 糸の選択

シードビーズ（種のように小さい粒のビーズ）を入れる場合は S-Lon（エスロン）または C-Lon（シーロン）の糸を使います。

ジューストーンやパール、クリスタルビーズを用いる場合は、ナイロン・コーティングした、細いビーズ用ワイヤーを使います。ジューストーンなどは S-Lon（エスロン）や C-Lon（シーロン）の糸を切る可能性があるからです。

糸の色はそんなに重要ではありません。糸はほとんど見えませんから。

### (4) ビーズの選択

連続ビーズ組紐を作る場合、すべすべのキラキラビーズやメタリックビーズが適しています。つや消しビーズを用いる場合は全体の 50 パーセントより少なく使ったほうが良いでしょう。つや消しビーズだけですとカチカチの組紐ができます。

### (5) 吊り重り

常の吊り重りの重さは重り玉の重さの合計の 40～50 パーセントです。組目の位置は鏡穴の底と同じ高さにするとういでしょう。20 cm より長い組紐を作る場合は吊り重りは組んでる途中で減らす必要があります。

組んだビーズが重さに加わりますから。常に組目が鏡穴の底の位置にあるようにして組んでください。きれいな組紐にするために時々マッサージをして均一な組目にしてください。

### 3. 組み方

上記の方法で、組糸とビーズを通す長さを決めます。

#### (1) 組糸を準備して、ビーズを通します

- ・二重リング（針金で作った直径 1.5 cm くらいの輪っか、自分で作れます）にコードを結び付けます。

- ・二重リングを鏡穴から下へおろし、二重リングにお箸を通します。お箸をマスキングテープで鏡の裏側に固定します。

- ・各組糸にビーズを通します。ビーズスピナーを使うと速く通せます。

- ・ビーズを所定の長さ通したら、最後に止めビーズをつけます。止めビーズとはビーズがぬけてしまわないようにするものです。最後のビーズに糸を通した後もう 1 回くると糸を通すものです。止めビーズは細い糸の場合は直径 1.8mm のビーズがいいですし、太い糸の場合は 2.5 mm のビーズがいいでしょう。止めビーズは組糸の最後から 15 cm くらいまで滑らせ、糸の端には重り玉につけるために輪状に結びを作っておきます。重り玉に玉糸は付けず、直接組糸をつけた方がもつれたりしないので楽です。すべての組糸で同様にします。

#### (2) 丸台での配置

- ・糸配置をします。最初はビーズなしで組みますのでビーズは鏡より下にします。

- ・ビーズ止め金具（ビーズが鏡の上に滑ってこないようにするためのクリップで、止めビーズとは違います。）をビーズより上、鏡より下につけてください。ビーズ



非連続ビーズ組紐の例





非連続ビーズ組紐の例

止め金具の代わりにEZ ボビンをつけてもいいです。組糸が床に届く位長い場合は、ビーズは床に触れないようにEZ ボビンに巻いて短くして下さい。

### (3) ビーズを入れないで組みます

・ビーズを入れないで少なくとも6mm以上選んだ組み方で組んで下さい。鏡穴の中央に組み終わりが来るようにします。組み終わりは、最初の糸配置になるようにします。

### (4) 重り玉を付けます

・1本の組糸からビーズ止め金具やEZ ボビンをはずします。ビーズを組目部分まで押し上げます。この時ビーズの間から組糸が見えない位ビッシリとつめて下さい。この時止めビーズが役に立ちます。

・組糸に重り玉を付けます。重り玉の位置は鏡の下20cmくらいにします。

・すべての糸に同様に重り玉を付けます。

ビーズの間から組糸が見えないように十分に注意して下さい。

### (5) 組み始めます

・吊り重りを二重リングに下げ、箸を抜き取って下さい。

・およそ15cm毎に吊り重りの重さを10～15%減らして下さい。その時吊り重りも上に上げて下さい。組んだ部分をよくマッサージして組み目を均一にしてください。

### (6) 組み終わり部分

・お好みの長さ+2.5cm位組みます。

・お箸を組み終わりに挿し、丸台に固定します。

・吊り重りを外し、丸台をテーブルにのせます。こうすると、組み終わりの位置をよく見ることができます。

・ちゃんと均等にできているか調べて、組んだ部分を丁寧にマッサージします。

・C-Lon (別糸) を使用して、組みひもの希望の長さのところに、2回巻結びの最初の結びをしてください。

・結び目部分をマッサージし、結び目の下にビーズが入っていないように引き締めて、もう1回結びます。

・吊り重りを付け、お箸を抜き取ります。

・結んだところまで組み戻します。少なくとも鏡から15cm下に重り玉が来るようにします。

・玉を持ち上げ鏡の上に置きます。止めビーズをすべらせてビーズをずらし、鏡の上にはビーズが無いようにします。元あった場所に重り玉を下げます。

・他の玉も同様にして下さい。

・ビーズ無しで6～7mmほど組みます。

・吊り重りを半分の重さにします。

・まず1本の組糸の止めビーズの下、玉の近くを切ります。ビーズをカップに受けます。向い側の糸も同様にし、ビーズを外します。

・向い同士で真結びか2回巻結びをします。結んだら、糸が滑り落ちないようにマスキングテープで鏡の表面に止めておきます。すべての糸を同様にします。

(訳：多田牧子 Translated by M. Tada)

連続ビーズ組紐の例



非連続ビーズ組紐の例

# Adrienne Gaskell の ビーズ組紐

Beaded braids of Adrienne Gaskell

多田牧子

Makiko Tada



Adrienne Gaskell (エイドリアン・ガスケル)は、組紐を取り組みやすい新しいジュエリーを作る技法として、特にアメリカでたいへんポピュラーにしてくれました。現在、インターネットで「kumihimo」と画像検索するとビーズ組紐で作ったネックレスやブレスレットがずらりとできます。彼女が八つ金剛組でビーズを一粒ずつ落とし込んで組む方法を広めたおかげで、組紐に人気が集まり、組紐が市民権を得たと言えるでしょう。

彼女は丸台で組むビーズ組紐の第一人者です。もともとは彫金でいろいろなジュエリーを作っていたので、もっとも得意とするのはジュエリーのデザインです。ジュエリーデザイナーとして組紐にアプローチしましたので、いわゆる組紐作家とは違います。彼女は、組紐の表面がビーズ、ジューストーン、パールでびっしりと覆われていて、組紐組織がまったく見えない組紐を創りだしました。どの作品も素晴らしくゴージャスです。ネックレスやブレスレットとして使った場合、肌に当たる部分全部がビーズですから糸で作った組紐のアクセサリーより適していると考えられます。

彼女の作品は“Showcase 500 Art Necklaces” (Lark Books)にも収録されていますし、ビーズ & ボタンショウのコンテストや TOHO ビーズのデザインチャレンジでも見ることができます。たくさんの作品展をアメリカ各地で行い好評を博しています。また最近では「Kumihimo Fiber & Bead Jewelry (糸とビーズの組紐ジュエリー)」というアメリカでの初めての組紐雑誌

の構成にも尽力しています。

彼女はビーズ & ボタンショウなどの世界的なビーズの大会で2006年から、メインの講師を毎年つとめています。そしてアメリカ各地で、たくさんのワークショップを行っています。2012年のマンチェスターでの組紐国際会議「The Braids 2012」でもビーズ組紐の講師を務めました。日本では2013年に広島のとほびーズ本社で、2014年にTOHO Beads Style Tokyo Gallery-tでワークショップをしました。また本組紐・組物学会でも2014年京都で、2015年京都と東京でワークショップをしてもらいました。基本的なことから大変難しいことまで、段階的にていねいに教えるのが得意です。

私が Adrienne Gaskell に最初に会ったのは、2008年のアメリカ織物作家協会のタンパ大会でのことでした。マイアミの南フロリダアートジュエリー・ギルドの主要メンバーで講師でもある彼女はたくさんのメンバーを引き連れて私のクラスに参加してくれました。それまでは八つ金剛だけを用いてビーズ組紐を製作していたのですが、組紐の奥が深いことを知り、組紐にのめり込んだようです。

今回は、彼女が開発した「Continuous Beaded Braids (連続ビーズの組紐)」の方法を公開してくれました。糸にビーズをびっしりと通し、それを通常の糸の束と同じようにして組紐を作ります。美しく作るのにたいへんコツの要る組み方です。すでにワークショップで習った方も、どうぞまたトライして下さい。



# 真田紐 Sanada-himo

高木たまき  
Tamaki Takagi



真田昌幸公由来の鎧 上田市立博物館蔵



## 1. はじめに

真田紐を初めて見たのは、いつだったのか、定かではありません。小さい頃、曾祖父のお茶道具を納めてあった、納戸の棚だったような、おぼろげな記憶だけが残っています。

私は長年、北欧の手工芸、主に刺繍に携わってきました。最近、北欧のサーミ人の紐も織っております。2014年の12月、私の『北欧のBand織』の個展に、多田牧子先生にご来場頂きました。その時、日本の織紐＝真田紐を調べてみませんか、と、大きなテーマを提案されたのです。

これが本当の真田紐との出会いであり、始まりだったと云えましょう。

## 2. 真田紐とは

真田紐は、woven band 織紐です。経糸（たていと）に対し、緯糸（よこいと）が太いのです。そのため、丈夫で伸びない特徴があります。織地は、平面で、模様は主に縞です。

今のように、ガムテープや、安価なプラスチックの紐が無かった時代に、物をしっかり結ぶ生活道具として、庶民の間に使われてきた紐です。

あまりにも身近な道具でしたから、とても美しい紐なのに芸術性も全く評価されず、その歴史も研究されなかった謎の紐でもあります。

この鎧は、真田昌幸公由来の鎧です。手甲と臍当（す

ねあて）に真田紐が使われています。400年くらい前の物と伝わっています。おそらく、制作年代が推測できる一番古い真田紐と思われます。

## 3. 名前の由来

真田紐の名前については、3つの説があります。

- ・真田幸村(1567—1615)が考案した紐。
- ・紐の形状がサナダ虫に似ている。
- ・狭の機（さのはた）と言う細い織紐のことを、言い易く、『さなだ』になった。

この中で、最もポピュラーな伝説は、真田昌幸、幸村父子が、関ヶ原の戦（1600年）に敗れ、囚われの身になった、和歌山県の九度山の庵で、この紐を考案。それを家来が売り歩いて、情報収集に勤めたというものです。

現在、九度山の真田庵に、幸村が使用したという織り機がありますが、かなり傷んでおり、現状では使用不可かと思われます。この織り機の年代の鑑定が出来れば、真田紐の謎の一つが解けるかもしれません。

## 4. 真田紐の使い方

千利休による茶道の興隆によって、真田紐は大事な茶碗や道具類を収納する桐の箱に掛けられるようになります。茶道にはいろいろな作法があるように、紐の掛け方も、お流儀によっての違いが生まれ、約束紐と



言われるお茶人独自の柄の紐も生まれるようになります。これは桐の箱の中に収められている茶碗などの真贋の鑑定のポイントにもなったようです。

便利な見分け方として、中心が濃い色の真田紐が掛かっている箱には、重い物が入っていますよ、という目印にも使われたとか。

刀の柄巻として巻かれているのは、真田紐と言われておりましたが、これは、間違いです。ご承知のように、柄巻に使われているのは組紐です。伸びない真田紐には不向きです。



貴重品の箱を縛る真田紐 入山純子氏蔵



下駄スケート 下諏訪町立諏訪湖博物館蔵

前述したように、真田紐は織紐です。経糸と緯糸が直角に交わります。これは、細い平紐は真田紐、丸紐が組紐と、間違っって伝わった歴史があるようです。

江戸時代から明治時代になると、真田紐はランプの芯としても使われるようになりました。この頃、泉大

津（大阪府）が真田紐の一大生産地でした。この地には、織物の伝統技術があり、また、貿易港として栄えていた堺市とも近く、九度山もそんなに遠くありません。千利休も堺の商人でした。この地の利にも関係があるかもしれません。

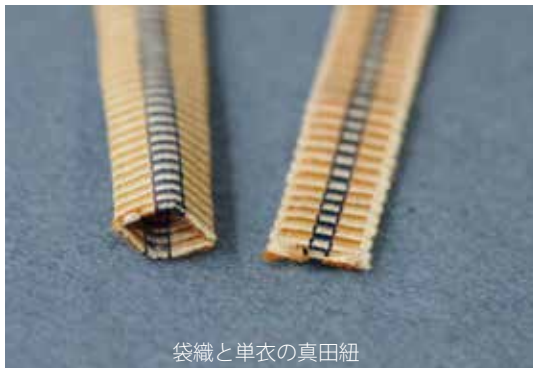
大正時代から昭和時代前半まで、長野県の諏訪湖では下駄スケートが流行しました。戦後スケート靴が普及するまで、人々はスケートの刃を付けた下駄を真田紐で足首に巻きつけ、スケートを楽しんだようです。真田紐は身近にあった丈夫な紐だったからでしょう。



ランプの芯 泉大津市立織編館蔵

## 5. 現代の使い方

一番使われているのは、やはり茶道の世界だと思われます。貴重なお道具には絹の袋織、普通の品物には木綿の真田紐が使われます。



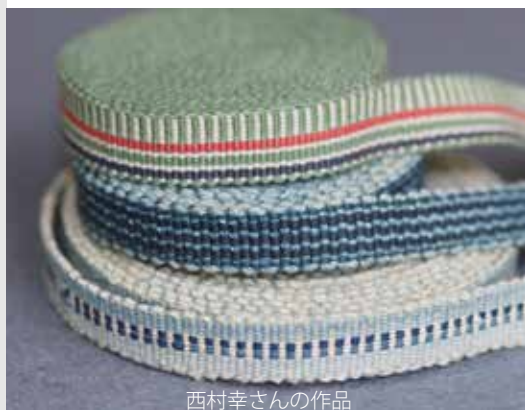
袋織と単衣の真田紐



道具紐

実用的な使用方法としては、京都の名産の北山杉を切り出した時、木綿の丈夫な幅の広い真田紐で巻いて運ぶようです。平たい紐なので、貴重な木の表面に傷をつけません。これこそ、道具紐としての真髓の使われ方でしょう。

現在、手織の真田紐を織っておられるのは、おそらくお二人と聞いています。製品のほとんどが機械で織られた物です。



西村幸さんの作品

私は西村幸さんという織師さんから、手織の作品を譲って頂くことが出来ました。西村さんは、ご高齢で、現在は織られていないため、貴重な真田紐です。機械織の紐とは全く違う素晴らしい風合いです。

## 6. おわりに

組紐は、多田先生を始め、諸先生方のご尽力により世界に広まっています。今では組紐という枠を離れ、海外のアーティストによって、芸術作品が数多く作られています。

この夏、英国組紐協会主催の第3回組紐国際会議において、真田紐のワークショップを仰せつかっております。この機会に、日本にはもう一つ、真田紐があるということをご微力ながら紹介してまいります。

古い真田紐を訪ねて、数々の博物館、美術館を訪ねました。真田紐は、陳列されていません。前もってお



真田紐 1 諏訪市立博物館蔵



真田紐 2 諏訪市立博物館蔵



真田紐 3 諏訪市立博物館蔵

願いして、収蔵庫に眠っている真田紐を見せて頂く旅でした。そこで、名もなき織り手のワザを見て、深い感銘を受けました。

私の真田紐の研究は、やっと入り口に入ったところでしょうか。これからも、真田紐を探求して行きたいと思っています。





真田紐 4 諏訪市立博物館蔵



真田紐 6 戸栗美術館蔵



真田紐 5 諏訪市立博物館蔵



真田紐 7 戸栗美術館蔵

### 真田紐の老舗



江南（京都）創業400年  
<http://www.13.plala.or.jp/enami/index2.html>



伊藤組紐店（京都）  
<http://itokumihimoten.com/?mode=cate&bid=160317&csid=0>



すみや（金沢）  
<http://www.sanadahimo.com/>



真田紐 8 戸栗美術館蔵

### 謝辞

この稿を書くにあたり、大変お世話になりました。写真掲載の許可などのご協力に感謝申し上げます。泉大津市立織編館、真田庵、上田市立博物館、下諏訪町立諏訪湖博物館、諏訪市立博物館、戸栗美術館、西村幸、和田伊三男（江南15代目当主）、中山 雅、入山純子、Susan J Faulkes、鈴木孜（写真撮影）、多田眞作、多田牧子。敬称は略させていただきました。

### 参考文献

市村藤齊(1965)「真田紐」、『民芸』105号 28-29頁  
著者名なし(2015)「真田紐 江南」『月刊茶の間』2015年2月号 12-15頁  
和田伊三男(2016)「やまとの匠、日本のこころ真田紐 その一」『手づくり手帖』Vol. 08 早春号 54-57頁  
泉大津市立織編館編(1994)「真田紐の美と歴史」24p.

## 「遊びの組紐 2016」京都

組紐・組物学会認定講師作品展示会

組紐・組物学会では、スポーツ・産業分野の組紐（ザイルやバルブの継手など）、繊維複合材料分野の組紐（ゴルフシャフトや自動車部品など）、そして日本をはじめとする各国の伝統の組紐の研究や普及活動を行っています。なかでも日本の伝統の組紐は、その技術を継承するシステムが失われつつあるため、その指導者の育成は急務と考えられます。

そこで本学会では、2010年から「組紐・組物検定」を実施し、伝統の組紐に関する知識と制作技術を客観的に認定することにより、組紐技術の指導者の育成を計っています。今回の作品展示会では、この検定の最難関の1級試験を突破して初の組紐・組物学会認定講師となった3名の会員（小嶋博子、西 幾代、丸山文乃）の作品を学会外の方にも広く公開し、組紐の魅力と新しい可能性を紹介したいと考えました。



- 会期：2016年2月12日（金）～17日（水）
  - 会場：イトコバコ 京都市上京区主税町1071
  - 主催：組紐・組物学会、協力：ハマナカ株式会社
- 会期中は多くの来場者で賑わい、13日（土）と14日（日）にはお子様向けのワークショップを行いました。また作品展の図録として、美しいカラーのブックレット（A-5版・38頁）を刊行しました。学会事務局から実費（300円）で入手可能です。またそのPDFファイルは、学会のWebサイトからダウンロード出来ます。



## ワークショップ 京都 2016-2017

時間：10：00～16：00

場所：京都工芸繊維大学内3カ所

### ■第1回ワークショップ・レクチャー

4月22日（金）「丸台シバーシブル」小嶋博子  
総合研究棟多目的室

4月23日（土）レクチャー 多田牧子

### ■第2回ワークショップ・レクチャー

6月17日（金）「ワイヤー組紐」青木ふさえ  
総合研究棟多目的室

6月18日（土）レクチャー 多田牧子

### ■第3回ワークショップ・レクチャー

10月21日「ビーズ組紐」西 幾代

10月22日（土）レクチャー 多田牧子

60周年記念館2F大セミナー室

### ■第4回ワークショップ・レクチャー・検定試験

12月9日「プレートでネックレス」今井雅子  
検定高台実技(1)

12月10日（金）検定高台実技(2)、丸台実技

12月11日 レクチャー、筆記試験

工織会館多目的室

### ■第5回ワークショップ・レクチャー（2017年）

2月17日（金）「ループ組紐の人差し指操作・トルマッシュ」ループ組紐愛好者グループ

2月18日（土）多田牧子・レクチャー

60周年記念館2F大セミナー室

## ワークショップ 東京 2016-2017

時間：10：30～16：00

場所：日本女子大80年館5F 被服学科物理学実験室

### ■第1回ワークショップ

5月14日（土）「組紐ディスク&プレート」多田牧子

### ■第2回ワークショップ

7月9日（土）「ビーズ組紐」佐久間なほみ

### ■第3回ワークショップ

9月10日（土）「アンデスの平組・ボードを使った2間組」  
青柳淑枝

### ■第4回ワークショップ

11月12日（土）「丸台組紐の無限の可能性」吉田夕子

### ■第5回ワークショップ（2017年）

1月14日（土）「面白い組紐」古澤陽子

### ■第6回ワークショップ（2017年）

3月10日（土）「クテ打・二人で組む」亀井三枝子

ワークショップの予定は変更されることがありますので、学会のホームページで最新情報をご確認下さい。

## 第6回組物検定終了 京都

第6回の組紐・組物検定試験は2015年12月12～13日に京都工芸繊維大学総合研究棟多目的室において行われました。今回の受験者は1級から5級まで8人、また昨年から新設された「匠検定」受験者が4人でした。

結果は組紐・組物検定が1級から5級まで受験者が全員合格と言う大変良い成績でした。匠検定はさすがに難しく、残念ながら合格者が出ませんでした。

一昨年度に誕生しました3名の1級合格者に次ぎ、昨年は2名の1級合格者が出ました。この方々はその知識と技能が認定された組紐の指導者としての活動が期待されます。

受験番号	筆記試験 (*前年合格)	実技試験		筆記試験合格ライン
		丸台	高台	
1-1	*	*	○	85
1-2	○	○	○	
2-1	*	*	○	80
2-2	○	○	○	
3-1	○	○	○	80
4-1	○	○		80
5-1	○	○		75
5-2	○	○		

## 第7回組物検定 京都

第7回の組紐・組物検定試験は2016年12月10～11日に京都工芸繊維大学で行われる予定です。本年度は1,2,3,4,5級の検定試験を実施します。

組物検定は、組物を社会に広め、組物技術の向上と発展、技術指導者の育成を目的として、組紐・組物学会が2010年度から実施している検定試験です。性別・

年齢・学歴等の制限はありません。

検定基準となる各級の技術到達度および試験範囲は以下のとおりです。

■5級：丸台と角台の8玉、16玉。

組物の基礎的な技能と知識があるか。

■4級：丸台16玉、24玉。

組物について専門的スキルと知識があるか。

■3級：クテ打初級、綾竹台初級、丸台など。

組物について専門的スキルと知識を持ち、丸台で創作組紐を作るなど、応用能力があるか。

■2級：クテ打中級、綾竹台、高台1枚物など。

組物について専門的スキルと知識を持ち、指導者の補佐ができるか。

なお2級を受験する方は以下の作品を実技試験の日にご持参下さい。

・綾竹台作品2本以上

(2年以内に制作したものが望ましい)

・高台1枚物作品2本以上

(2年以内に制作したものが望ましい)

提出作品をこれから組まれる方は房を付けない組みっぱなしで提出して下さい。

■1級：高台2枚物、唐組台など。

組物について高度な専門的スキルと知識を持ち、指導する実力があるか。

なお1級を受験する方は以下の作品を実技試験の日にご持参下さい。

・高台2枚物作品2本以上

(2年以内に制作したものが望ましい)

提出作品をこれから組まれる方は房を付けない組みっぱなしで提出して下さい。

1級合格者は、組紐指導者として活躍できるよう、個別の作品展の開催、「組紐・組物学会認定講師」の名刺(学会ロゴ入り)の制作などを学会が支援します。

■合否判定：

筆記試験は獲得点数により判定します。昨年度の合



第4回の組紐検定試験



格ラインは5級が75点、4級、3級、2級が80点、1級は85点でした。

実技試験は試験会場で組まれた作品をもとに審査員が判定します。間違いの有無、時間内に所定の長さで組まれているか、動作と出来映えの3つの観点からA, B, Cの3段階評価とし、A, Bが合格となります。

なお、今年不合格になった科目は、翌年にその不合格科目のみを受験して合格すれば、その級に合格することが出来ます。

#### ■受験申込み：

受験を希望する方は、住所、氏名、電話番号、メールアドレスをFax、電子メールまたは葉書で11月20日までに学会事務局までお送り下さい。受験料は7560円（絹糸の材料費を含む）です。銀行振込また

は当日の現金払いも受け付けます。

組紐・組物学会事務局：

京都工芸繊維大学大学院伝統みらい教育研究センター内

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町

Tel/Fax: (075)724-7844、 E-mail: inoda@kit.ac.jp

#### ■匠検定

昨年度から「匠検定」が設けられました。筆記試験のない実技のみの試験です。実技試験としては、1級より難しく、高台2枚物の技能を検定します。匠検定から受験する方は丸台の実技もあります。また2年以内に製作した作品2点以上を提出して頂きます。



組紐・組物学会  
The Kumihimo Society

#### 役員

##### ■会長

小嶋博子：組紐研究者

##### ■副会長

仲井朝美：岐阜大学工学部

##### ■理事

荒川光久：全国くみひも教材センター

上田隆久：日本ピラー（株）

魚住忠司：村田機械（株）

大谷章夫：岐阜大学工学部

北村雅之：北陸ファイバーグラス（株）

倉谷泰成：（株）カド コーポレーション

多田牧子：組紐研究者

寺本 靖：（有）寺本文化財工芸社

西本博之：武田薬品工業（株）

濱田泰以：京都工芸繊維大学

濱中知子：ハマナカ（株）

廣澤浩一：三重県組紐協同組合顧問

圓井 良：圓井繊維機械（株）

松梨久仁子：日本女子大学

渡辺一生：渡敬（株）

#### 事務局

猪田宮子：京都工芸繊維大学

## 組紐・組物学会事務局

京都工芸繊維大学大学院

伝統みらい教育研究センター内

〒606-8585

京都市左京区松ヶ崎御所海道町

Tel/Fax: (075)724-7844

E-mail: inoda@kit.ac.jp

<http://www.kumihimo-society.org>

ご入会、ワークショップ、組紐検定、シンポジウム講演、作品・製品展参加のお申し込みはこちらにお願いします。

